

## 一般社団法人日本粘土学会 平成 29 年度第 2 回理事会議事録

日 時：平成 29 年 1 月 28 日（土）15:10～17:20

場 所：早稲田大学 西早稲田キャンパス 55 号館 S 棟 4 階 407 室

出席者：理 事(18 名)：八田珠郎、千野裕之、小暮敏博、河野元治、伊藤弘志、上原元樹、梅村泰史、蛭名武雄、大川政志、太田俊一、岡田友彦、桑原義博、篠原也寸志、高橋範行、田村堅志、丸茂克美、宮脇律郎、渡辺雄二郎

委任状(11 名)：會澤純雄、伊藤健一、上原誠一郎、大河原正文、川俣 純、地下まゆみ、林 亜紀、前田雅喜、牧野知之、皆瀬 慎、和田信一郎

監 事(2 名)：月村勝宏、山崎淳司

理事以外の常務委員(7 名)：日比野俊行、志々目正高、佐藤 努、横山信吾、小口千明、鈴木憲子、手束聡子

事務局：土信田裕子

成立の確認：理事総数 29 名の過半数 15 名

出席理事 18 名、委任状提出理事 11 名、合計 29 名で理事会の開催は成立

### 審議事項

#### 1. 平成 29 年度事業中間報告

各担当委員より、平成 28 年度事業中間報告書の各事業項目について下記のとおり説明が行われ、審議の結果、承認された。

(1) 学術雑誌の編集と発行:1) 日比野編集委員長より、粘土科学の編集と発行状況について報告がなされた。2) 蛭名編集委員長より、Clay Science の編集と発行状況について報告がなされた。

(2) 研究発表会・見学会等の開催:河野常務委員長より、第 60 回粘土科学討論会（九州大学）の実施状況について報告が行われた。次に、丸茂実行委員長より、第 61 回粘土科学討論会（富山大学）の準備状況についての説明が行われた。

(3) シンポジウム・セミナーの開催:田村企画委員長より、第 60 回粘土討論会でのシンポジウム開催報告及び第 61 回粘土討論会でのシンポジウム開催準備状況について報告がなされた。

(4) 標準試料:鈴木標準粘土委員長より、標準粘土の頒布状況について報告がなされた。

(5) 広報:横山広報委員より、ホームページの運用状況について報告がなされた。

(6) 渉外:佐藤渉外委員より、第 4 回アジア粘土会議での協議内容等についての報告がなされた。

(7) 表彰: 河野常務委員長より、平成 28 年度の報告および平成 29 年度の選考準備について説明が行われた。

(8) 研究促進: 河野常務委員長より、研究グループ援助の継続と現在進行している研究グループについて報告がなされた。

(9) 庶務: 篠原庶務委員より、日本地球惑星科学連合の第 15 回学協会長会議の開催報告、関連学協会への共催及び協賛の報告、会員動向についての報告が行われた。

(10) 学会誌等の電子化推進: 河野常務委員長より、国立情報学研究所電子図書館事業(NII-ELS)に掲載されている電子データの J-STAGE への移管状況、ホームページ暫定版の運用状況と新バージョン

ョンへ移行予定、「粘土科学」及び「Clay Science」の4月からの J-STAGE 登録開始予定が報告された。

(11) 常務委員会及び理事会：河野常務委員長より、常務委員会及び理事会の開催状況が報告された。

## 2. 平成 29 年度会計中間報告

志々目会計委員より、平成 29 年度会計の中間報告が行われ、審議の結果、承認された。なお、会費収入が予算に対して 100 万円ほど不足している件について、会費未納者が多いため、徐々に入金される見込みである旨の説明があった。

## 3. 会計収支の改善に向けた対応について

河野常務委員長より、会計収支の改善に向けた対応策についての説明が行われ、次の各事項について実施していくことが承認された。1. 討論会関係では、特別講演での会員外の講演者への謝礼の廃止、会員外の講演者への「粘土科学」誌の原稿料支払いの廃止、別刷り 50 部贈呈の廃止。シンポジウム講演では、会員外及び賛助会員の講演者への謝礼の廃止、別刷り 50 部贈呈の廃止、会員の講演者の懇親会への無料招待は行わない。また、講演要旨集への標準試料広告費の支出を廃止する。2. 粘土科学と Clay Science の同一発送を行う。3. 粘土科学及び Clay Science の編集費支出を廃止する。4. 粘土科学及び Clay Science の海外発送のうち、個人寄贈を中止する。5. 粘土科学及び Clay Science の別刷り取り方を掲載料方式へ変更する。掲載料の額は現在の別刷り取り額と同じとする。また、6. Clay Science の J-STAGE をプラットフォームとした電子ジャーナル化についても進めることとし、今後、実施に向けた具体的な検討を続けることとした。なお、J-STAGE の運用についてはオープンアクセスで開始することが諮られ、承認された。

## 4. 日本粘土学会規程等の変更・制定について

(1) 河野常務委員長より、粘土科学討論会に関する申し合わせ事項（案）の内容が説明され、審議の結果、承認された。なお、シンポジウム講演については、講演内容を「粘土科学」又は「Clay Science」誌に掲載し、掲載の義務化はしないこととした。

(2) 河野常務委員長より、粘土科学広告取り扱い規程(案)、Clay Science 広告取り扱い規程(案)、ホームページバナー広告取り扱い規程（案）の内容が説明され、審議の結果、粘土科学広告取り扱い規程（案）及び Clay Science 広告取り扱い規程（案）が承認された。ホームページバナー広告取り扱い規程（案）については、運用上の問題等について引き続き検討を行うこととした。

## 5. 粘土科学討論会

### (1) 第 60 回粘土科学討論会会計報告

河野常務委員長より、第 60 回粘土科学討論会会計報告が行われ、審議の結果、承認された。

### (2) 第 61 回粘土科学討論会について

丸茂実行委員長より、第 61 回粘土科学討論会の実行計画について説明が行われた。富山大

学では、討論会用のメール使用ができないため、申込方法等を Web に限定する方向で検討中であること。また、託児所は準備できないことが説明された。見学会として、①イタイタイ病資料館コース、②能登半島珪藻土コースの2つを設定する。能登半島珪藻土コースについては旅行代理店に運営を依頼するため、参加希望者不足で実施ができない場合にも取扱い手数料を支払う必要があることが説明された。なお、特別講演については、イタイタイ病資料館長に依頼することとした。

次に、田村企画委員長より、シンポジウムとしてテーマ：「粘土鉱物と高分子（仮題）」とし、講演者4名程度の開催案が説明され、承認された。

#### 6. 粘土科学の表紙デザインの一部修正について

日比野粘土科学編集委員長より、粘土科学の表紙デザインの一部修正についての提案があり、承認された。なお、ロゴマークについてはモノクロとせず、青を基調としたカラー2色刷りとすることとした。

#### 7. Clay Science の表紙デザイン変更について

蛭名 Clay Science 編集委員長より、Clay Science の表紙デザインの変更についての提案がなされ、審議の結果、以下の意見が出された。

(1)表紙の変更及び修正等は常務委員会及び理事会で審議する必要があること。(2)表紙を変更することの目的が不明確であること。(3)Clay Science の表記法やロゴ等の基本書式は変更しない。(4)デザインを号毎に毎回変更することはしない。(5) デザインの著作権の帰属を明確にすること。(6)粘土学会の各研究分野に共通するデザインとすること。(7)変更後の表紙の印刷費用は現在の表紙の印刷費用を越えないこと。これらの意見を参考として、引き続き検討をお願いすることとした。

#### 報告事項

##### 1. 研究グループ活動状況報告書

八田会長より、研究グループ活動状況について報告がなされた。

##### 2. その他

岡田理事より、本年の ICC でのセッションの紹介と講演申し込みの案内がなされた。

平成 29 年 1 月 28 日

一般社団法人日本粘土学会理事会

会 長 八 田 珠 郎 ㊞

監 事 月 村 勝 宏 ㊞

監 事 山 崎 淳 司 印